

簿財2科目同時学習・同時合格

# 税理士簿財アドバンスレギュラー通信

簿記論と財表は2科目同時学習でインプットを効率的に行い、早期からアウトプットの訓練を始め、実践力を磨きます。

「簿記論」「財務諸表論」の会計2科目は、通常それぞれ別々に学習しますが、2科目に共通する論点が多数あります。クリアールではそこに着目し、会計科目を同時に学習することで、学習時間を短縮すると同時に学習効果をより高める効率的なカリキュラムで2科目合格を目指します。

## 簿記論＋財務諸表論

教育訓練給付金対象講座 全295時間

### Point

#### 簿記論と財務諸表論を同時学習で理解度UP!

同時学習の一番の効果は、『簿記論』と『財務諸表論』の同一論点を一緒に学習することで、理論×計算による理解の相乗効果が生まれることです。さらに、学習時間短縮により講義コマ数も大幅カットされ、1週間の講義時間も短縮。働きながら学習する方にも継続しやすいカリキュラムになっています。

### ●受講料

学習スタイル	一般価格	教育訓練給付制度 指定番号
通信	240,000円	136810710037

- 入学金は不要です。
- 教材費・消費税は、受講料に含まれています。
- 講座内容、受講料等についての詳細は、お問い合わせください。
- 当コースは、厚生労働省指定の教育訓練給付制度対象講座です。受講料の一部が国から支給されます。

2019年

9月

### INPUT

#### 基礎期

- 帳簿組織
  - 一般商品売買
  - 特殊商品売買
  - 製造業
  - 本支店会計
  - 本社工場会計
  - 会計学総論、一般原則
  - 貸借対照表総論
  - 損益計算書総論、財務諸表の開示
  - 現金預金
  - 金銭債権
  - 有価証券
  - 棚卸資産
  - 有形固定資産
  - 無形固定資産、投資その他の資産
  - 繰延資産
  - 研究開発費等
  - 負債会計
  - 社債
  - 引当金
  - 諸税金
  - 退職給付会計
  - 資本会計（総論）
  - 株主資本、自己株式、分配可能額
  - 新株予約権
  - 建設業
  - 外貨換算会計
  - デリバティブ取引
  - 税効果会計
- 基礎I期答練2回（簿記論）  
基礎II期答練3回（簿記論・財務諸表論）

138時間

#### 基礎期答練

2020年

12月 1月

### OUTPUT

#### 応用期

- リース会計
  - キャッシュ・フロー計算書
  - 金銭債権、一般商品売買・棚卸資産
  - 有価証券（保有区分の変更等）
  - 固定資産、リース会計
  - 減損会計
  - 資産除去債務
  - 諸税金、引当金（退職給付、建設業）
  - 純資産の部の表示、概念フレームワーク
  - スtock・オプション
  - 一株当たり当期純利益
  - 組織再編会計
- 応用答練20回

99時間

#### 応用答練

4月 5月

#### 直前期

- 改正論点等
  - 過去問分析（3年分）
  - 公開模試
  - ヤマ当て
- 直前答練16回  
公開模試 1回（簿記論・財務諸表論）

58時間

#### 直前答練 公開模試

7月 8月

2020年度税理士本試験

## 簿財アドバンス

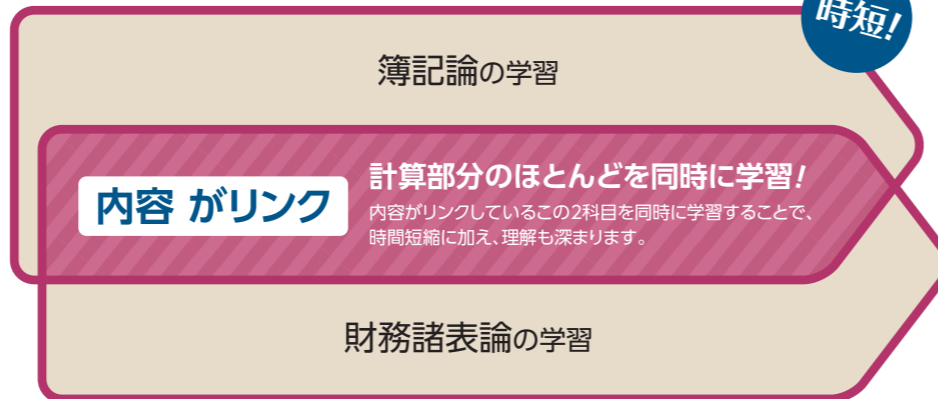
「簿記論」「財務諸表論」2科目同時学習で無駄を省き体系的理解と時間短縮を図ります。

クリアールでは、簿記論と財務諸表論を同時に学習する「簿財アドバンス」を初学者の方にはお奨めしています。下の図に見られるように、2科目の大部分は共通の項目。クリアールはそこに着目し、この2科目を同時に学習することで理解しやすく、時間（特に受講時間）も大幅に短縮できる、効率的に短期合格を目指すカリキュラムを開発しました。学習時間200時間を短縮できるから、余った時間は復習にまわし、より合格が確実になります。



共通項目の多いこの2科目は、同時学習が同時合格につながります。

### 簿財アドバンス

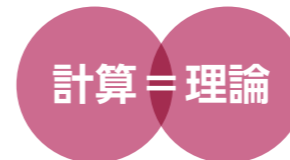


「簿記論」と「財務諸表論」、学習範囲がかぶっているこの2科目は、同時に学習することによって、理解度もUPし、学習時間の短縮につながります。クリアールは「簿財アドバンス」を推奨しています。

## 効率性を徹底して、「最小限の時間」で「最大限の効果」を生む!

同時に学習することで、つながりが見やすくなる。

簿財アドバンスの講義では、各分野ごとに理論⇒計算・仕訳⇒財務諸表の表示の順に学習内容が構成されています。一般的には簿記論では計算・仕訳、財務諸表論では理論や表示を中心に学習するため、理論と計算の結びつきが掴みづらく非効率です。簿財アドバンスでは理論と計算の結びつきが明確になるため、効率的かつ効果的な学習が可能になります。



理論と計算の結びつきが明確

財務諸表論の計算が楽になる。

簿記論は、計算だけのため財務諸表論の計算より高いレベルが要求されます。簿財アドバンスは両科目の同時習得を目指した勉強をしているため、財務諸表論の計算がより簡単に理解することができ、別々に学習する場合に比べ、財務諸表論の計算部分の学習がスムーズにできます。



簿記論の計算の方がレベルが高いので  
財表の計算が楽に理解できる

同じ講師が講義と教材を作成するから、効率的に学習できる。

一般的に簿記論と財務諸表論の同時学習の有効性は、どの受験スクールも認めています。簿財アドバンスは、簿記論と財務諸表論を講義も教材も同一講師によって実施、作成されています。そのために、同じ論点を2度学習したり、講師によって説明の内容が異なったりすることがないため、少ない時間で混乱することなく効率的に学習することが可能です。

